



2019年10月16日
セントラル野球連盟
パシフィック野球連盟
スカパーJSAT株式会社

9月度「スカパー！ サヨナラ賞」受賞選手発表

セントラル、パシフィック両リーグが制定する月間「スカパー！サヨナラ賞」(協賛:スカパーJSAT株式会社)の9月度受賞選手が決定いたしました。受賞選手には、スカパーJSAT株式会社よりトロフィーと賞金30万円が贈られます。

～ セントラル・リーグ 受賞選手 ～

N. ソト
(横浜 DeNA ベイスターズ)
初受賞

ソト選手は、9月19日(木)横浜スタジアムで行われた対広島東洋カープ 25 回戦、8 対 8 で迎えた延長 11 回裏無死 1,2 塁の場面で、左中間に飛び込むサヨナラ 3 点本塁打を放ち、7 点差をひっくり返す大逆転勝利の立役者となった。

横浜 DeNA は、7 点ビハインドで迎えた 6 回裏、宮崎選手の安打と筒香選手の死球で好機を作り、まずはソト選手がこの試合一本目となる 3 点本塁打を放ち、反撃の狼煙を上げる。その後も連続安打と四球で満塁にすると、代打梶谷選手のグランドスラムでこの回一気に同点に追いつく。8 回表に本塁打で 1 点を失うも、その裏再び梶谷選手のタイムリー 2 塁打で同点に追いつく驚異の粘りで、8 対 8 のまま延長戦へ突入した。そして迎えた 11 回裏、先頭のロペス選手が安打で出塁し、続く桑原選手が死球でつなぎ無死 1,2 塁の絶好のチャンスを作ると、次打者のソト選手が見事に期待に応え、この試合 2 本目、今シーズン第 42 号となるサヨナラ 3 点本塁打を放ち、3 位広島東洋に 2.5 ゲーム差をつける価値ある一打を放った。この日のソト選手は 2 本の本塁打を含む 3 安打・6 打点と大当たり、9 月は 10 本塁打・22 打点と月間リーグ 2 冠の活躍で、チームのシーズン 2 位 (CS 本拠地初主催) に大きく貢献した。

～ パシフィック・リーグ 受賞選手 ～

E. メヒア
(埼玉西武ライオンズ)
初受賞

メヒア選手は、9月20日(金)メットライフドームで行われた対東北楽天ゴールデンイーグルス 21 回戦、3 対 3 で迎えた 9 回裏 1 死 1 塁の場面で代打に立つと、放った打球は左翼へ高々と舞い上がりスタンドイン。激しい優勝争いを繰り広げるチームを救う劇的なサヨナラ 2 ランは、自身初のサヨナラ本塁打となった。

この試合、埼玉西武は 6 回裏に集中打で 3 点を先制するも、7 回表に好投していた先発松本航投手が東北楽天打線につかまり、3 点を返され試合は同点に。その後両チームとも救援陣が得点を許さず同点のまま 9 回裏を迎えた。

9 回裏、この回から東北楽天のマウンドには守護神の松井投手。先頭の山川選手がレフト前ヒットで出塁したが、スリーバント失敗で走者を送れない。悪い流れになりかけたところで打席には、今シーズン松井投手と 3 打数 2 安打と相性抜群の代打メヒア選手。4 球目の直球を思いっきり振りぬくと打球は埼玉西武ファンの待つレフトスタンドへ飛び込んだ。メヒア選手は 9 月 14 日(土)の対千葉ロッテ戦においても、10 回裏にサヨナラタイムリーを放ち 1 週間で 2 度目のサヨナラ打を記録。今季は主に代打としての起用が多い中、ペナントレース最終盤の大事な試合で勝負強さを発揮し、一振りでチームを勝利に導いた。スカパー！サヨナラ賞は初の受賞となる。



月間「スカパー！サヨナラ賞」は、月間を通じて最もインパクトのあるサヨナラ打等を放った選手に贈られる賞として 2012 年に制定されました。スカパー！は、2006 年シーズンから「プロ野球セ・パ両リーグ公式戦全試合、プレイボールからゲームセットまで放送」(※トップ&リレー、録画放送を含む)を掲げており、「試合終了最後の 1 球まで真剣勝負をお届けするスカパー！」から多くのファンに、プロ野球中継最大の魅力を伝えることができ、それがプロ野球界発展の一助となると考え、本賞へ協賛しています。また、同様の趣旨のもと 2009 年シーズンから、レギュラーシーズンを通じて最も劇的なサヨナラ本塁打、またはサヨナラ安打等を放った選手に贈られる賞として「スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞」を制定しています。



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2012年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	中村 紀洋 (DeNA)	田中 賢介 (日本ハム)
5月度	森野 将彦 (中日)	A.バルディリス (オリックス)
6月度	和田 一浩 (中日)	M.ホフパワー (日本ハム)
7月度	石原 慶幸 (広島)	柘田 慎太郎 (楽天)
8月度	阿部 慎之助 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	新井 良太 (阪神)	松井 稼頭央 (楽天)

2015年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	平田 良介 (中日)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	福留 孝介 (阪神)	中川 大志 (楽天)
6月度	井端 弘和 (巨人)	吉田 裕太 (ロッテ)
7月度	藤井 淳志 (中日)	中村 剛也 (西武)
8月度	坂本 勇人 (巨人)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
9月度	中村 悠平 (ヤクルト)	B.レアード (日本ハム)

2013年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
5月度	畠山 和洋 (ヤクルト)	浅村 栄斗 (西武)
6月度	M. マートン (阪神)	高橋 信二 (オリックス)
7月度	丸 佳浩 (広島)	嶋 基宏 (楽天)
8月度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
9月度	石原 慶幸 (広島)	片岡 治大 (西武)

2016年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	杉山 翔大 (中日)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
5月度	坂本 勇人 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
6月度	鈴木 誠也 (広島)	B.レアード (日本ハム)
7月度	筒香 嘉智 (DeNA)	B.レアード (日本ハム)
8月度	脇谷 亮太 (巨人)	森 友哉 (西武)
9月度	ギャレット (巨人)	細谷 圭 (ロッテ)

2014年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	B.エルドレッド (広島)	A.ジョーンズ (楽天)
5月度	梵 英心 (広島)	加藤 翔平 (ロッテ)
6月度	嶺井 博希 (DeNA)	今宮 健太 (ソフトバンク)
7月度	福留 孝介 (阪神)	斉藤 彰吾 (西武)
8月度	J. ロペス (巨人)	田村 龍弘 (ロッテ)
9月度	T. ブランコ (DeNA)	松井 稼頭央 (楽天)

2017年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	鶴久森 淳志 (ヤクルト)	聖澤 諒 (楽天)
5月度	荒木 貴裕 (ヤクルト)	駿太 (オリックス)
6月度	亀井 善行 (巨人)	福田 秀平 (ソフトバンク)
7月度	大松 尚逸 (ヤクルト)	J. アマダー (楽天)
8月度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
9、10月度	安部 友裕 (広島)	A.デスパイネ (ソフトバンク)



Nippon Professional Baseball Organization

Hp: npb.jp



(参考)過去の受賞選手

【月間スカパー！サヨナラ賞】

2018年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)
5月度	山下 幸輝 (DeNA)	清田 育宏 (ロッテ)
6月度	山田 哲人 (ヤクルト)	上林 誠知 (ソフトバンク)
7月度	下水流 昂 (広島)	山下 斐紹 (楽天)
8月度	鈴木 誠也 (広島)	Y.グラシアル (ソフトバンク)
9、10月度	上田 剛史 (ヤクルト)	中島 宏之 (オリックス)

2019年度		
受賞月	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
3、4月度	青木 宣親 (ヤクルト)	中田 翔 (日本ハム)
5月度	高山 俊 (阪神)	辰己 涼介 (楽天)
6月度	原口 文仁 (阪神)	鈴木 大地 (ロッテ)
7月度	Y.ソラーテ (阪神)	中村 剛也 (西武)
8月度	石川 慎吾 (巨人)	清田 育宏 (ロッテ)
9月度		

(参考)過去の年間大賞 受賞選手

【スカパー！ドラマティック・サヨナラ賞 年間大賞】

受賞年	セントラル・リーグ	パシフィック・リーグ
2009年度	亀井 義行 (巨人)	井口 資仁 (ロッテ)
2010年度	天谷 宗一郎 (広島)	小久保 裕紀 (ソフトバンク)
2011年度	長野 久義 (巨人)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2012年度	和田 一浩 (中日)	中田 翔 (日本ハム)
2013年度	長野 久義 (巨人)	浅村 栄斗 (西武)
2014年度	福留 孝介 (阪神)	松田 宣浩 (ソフトバンク)
2015年度	雄平 (ヤクルト)	柳田 悠岐 (ソフトバンク)
2016年度	鈴木 誠也 (広島)	吉村 裕基 (ソフトバンク)
2017年度	宮崎 敏郎 (DeNA)	栗山 巧 (西武)
2018年度	下水流 昂 (広島)	森 友哉 (西武)

